

岩見沢市議会だよりが 100号を迎えました

平成元年11月の創刊以来定例会ごとに発行し続け、今号で100号を迎えることとなりました。一般質問や審議結果などを市民の皆さまに広くお知らせする取り組みとしてスタートし、当初は表紙を含め4ページ建てで質問者の名前の掲載などありませんでしたが、その時々の議会改革により少しずつ改編が加えられ、現在に至ります。

今期も、議会改革における重点分野の一つに「市民に開かれた議会」を据えて協議を進めており、6月の定例会では、試験的に議会周知を図るポスターを製作して市内約80カ所に設置させていただきましたが、このほかにも、直接市民と意見交換する場の設置やホームページの充実など検討を重ねています。

本紙につきましても、直接皆さまの手元に届く貴重な媒体ですので、我々議会・議員が伝えるべきことは何か、また、皆さまが知りたいことは何か、という基本に立ち返り、より良い紙面づくりを進めていく所存ですので、忌憚（きたん）のないご意見を賜りたく思います。

市民の皆様に市議会を知ってもらうことを目的とした これまでの主な取り組み

平成13年4月

会議録検索システムの運用開始

平成2年分から本会議の議事録を電子化し公開



平成16年12月

市役所本庁舎内2カ所で本会議の生中継を開始

市役所本庁舎正面ロビーと3階議場入口前の2カ所で本会議を生中継



平成20年4月

市議会ホームページを開設

市議会のホームページを開設し、議会で開催される会議のお知らせや定例会・臨時会の日程、質問通告や審議結果などを公開

市議会ホームページ⇒



平成26年6月

議会開催案内ポスターの掲示を開始

市議会定例会の開催日、会期の予定を告知するポスターを市内の公共施設などに掲示を開始

議会開催案内ポスター⇒



平成26年度中

議会報告会の開催を計画

市民の皆様に議会の活動を知っていただく機会を設けることを目的に議会報告会の開催を計画

平成26年第2回定例会(6月9日～6月20日/会期12日間)

平成26年度 一般会計補正予算を含む8案件を審議しました。

| 議案番号 | 件名 | 審議結果 |
|----------|-------------------------------------|---|
| 議案第48号 | 岩見沢市税条例及び岩見沢市税条例の一部を改正する条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議案第49号 | 平成26年度岩見沢市一般会計補正予算について(第1号) | 原案可決 |
| 議案第50号 | 岩見沢市議会委員会条例の一部改正について | 原案可決 |
| | 農業委員会の委員の推薦について | 推薦決定 井幡 修一 豊岡 義博 天崎 弘 谷口 洋一 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 同意 (石尾 秀逸) |
| 意見書案第11号 | 平成26年度北海道最低賃金改正等について | 原案可決 |
| 意見書案第12号 | 規制改革会議意見書の取扱いについて | 原案可決 |
| 意見書案第13号 | 総合的、体系的若者雇用対策について | 原案可決 |

➤ 第2回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

■地球社会建設決議について ■住民の安全・安心を支える「国の出先機関」の拡充を求め、「公務の民営化・独立行政法人化・業務委託化」に反対する意見書の提出について ■「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」採択について ■地方財政の拡充について ■規制改革会議意見書の取扱いについて

ピックアップ

議員活動15年以上の功績により表彰伝達！

第90回全国市議会議長会定期総会において表彰されました。

平成26年5月28日に東京都で開催された第90回全国市議会議長会定期総会において、議員活動15年以上の功績により、谷口洋一議員、仁志紘一議員、牧田滋昌議員が表彰され、議長から伝達が行われました。

また、全国市議会議長会理事を務めた功績により伊澤幸信議長に対して感謝状が送られ、同じく伝達が行われました。

代表して表彰の伝達を受ける牧田滋昌議員



感謝状の伝達を受ける伊澤幸信議長

岩見沢市議会ホームページでは、会議の開催日程及び会議の結果、議員の紹介、議会の概要、請願・陳情に関すること、市議会だより、会議録検索システムなどを掲載しています

<http://gikai.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



岩見沢市議会

検索



岩見沢市における社会動態増 対策の具体的推進について

新風会
大坂龍起議員

認知症サポーター 養成講座について

平成クラブ
古石英仁議員

Q 長期的な視野に立ったビジョンを持って社会動態人口を増加させる対策に取り組むべきと考えますが市長の見解は。

ののかといった課題の整理も必要となるため、定住人口増加策の一つとして、研究したいと考えている。

Q ①市職員の受講状況等と今後期待される効果は。②民間企業への対応は。③市民に広める方策と数値目標は。

界の方へ、理解を深めてもらえるよう、運送業や金融機関を初め、小売業などにも養成講座の受講を依頼している。既に幾つかの企業や団体などから受講の申し込みをいただいております。さらに多くの企業や団体の方々に受講いただけたらと思います。

今後においても、町会などのほか、小中学校での取り組みや、個人を対象とした休日や夜間の養成講座を開催するなど、

市長 定住人口を増加させるためには、「働く場、子育て、教育の環境」といった整備が大きなポイントであると考えており、これらをさらに充実させ、施策の質を高めるとともに、岩見沢市の持つ魅力を増強することが重要であると考えている。

また、定住や移住の促進につながるため、岩見沢市の生活基盤、地理的利便性、恵まれた生活環境などのPRに一層努め、長期的視野に立った施策を行うことが極めて重要であり、「働く場、子育て、教育の環境」といった整備を中心として、さらに充実を図る施策の検討を進めたいと考えている。

市長 ①職員研修として、5月に延べ9回、635人が受講し、職員の約84%が認知症サポーターとなった。今年度中に全職員がサポーターとなる予定で取り組んでいる。

職員が認知症サポーターになることにより、認知症の方が、窓口に来庁したときや電話などで問い合わせがあった場合、より適切に対応することができ、時には、認知症の早期発見、さらには、「地域での見守り」といったことにもつながると考えている。

今年度、1600人の養成を目標としており、平成29年度末までに、人口比5%を超える5千人の達成を目標としている。

道内では、転入者に限定し、土地の無償での分譲を、比較的人口の少ない4つの自治体で実施しているようであるが、自己資金で市の土地あるいは民間の土地を購入した人との公平性という問題や、一時的な制度とするのか、恒久的な制度とする

人口減少あるいは高齢化が、岩見沢市において、社会面あるいは経済面で、どのような影響があり、どのような課題となっているのかの検討も進めながら、体系的に取り組んでいきたい。

②現在、積極的なPRに努めており、認知症高齢者と接する機会が多い業

界の方へ、理解を深めてもらえるよう、運送業や金融機関を初め、小売業などにも養成講座の受講を依頼している。既に幾つかの企業や団体などから受講の申し込みをいただいております。さらに多くの企業や団体の方々に受講いただけたらと思います。



認知症サポーター養成講座を受講する市職員

駒澤大学附属岩見沢高等学校 跡地に関する考え方について

平成クラブ

田中 和宏 議員

胃がんリスク検診 導入について

公明党

酒井 和子 議員

Q 駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地について、

①跡地利用の具体的な構想について、現時点における市長の考えは。②公共施設マネジメントの目的との整合性についての見解は。

市長 ①現時点で具体的な全体構想をお示できる段階ではないが、学校への給食配送の位置関係、用地の広さから、学校給食共同調理所の整備も有力な候補地の一つであると考えている。

また、跡地の近隣には、大学や高等学校などがあり、都市計画マスタープランにおいては、「子どもから高齢者まで共に地域で育む文教のまち」と、当該地域の目標像を位置付けているので、それも十分に踏まえながら、跡地活用の具体的な構想に



駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地

ついて検討していきたいと考えている。

②10年先を見据えたまちづくりを進める上で、非常に有用性の高い資産になると考えている。例えば、幹線道路につながる

アクセス道路の整備により、地域の利便性が向上することなどが期待され、さらに、将来的に、公共施設等の最適な配置を検討するに当たって、その施設等が有するそれぞれの目的を最大限に発揮できる場所を念頭に置いた中で選定する必要がある、跡地は本市にとって

必要な未来への投資であると判断するに至った。

再質問 どの段階で具体的な構想がでるのか。

市長 大学側との基本合意の中で、どの施設を残すかなどが明らかになってくると、もう少し詳しい構想案が示せると考えている。

Q 胃がんリスク検診を中学生まで拡大して導入すべきと考えるが、市長の考えは。

いるところもあることは承知している。

市長 胃がんリスク検診は、ピロリ菌感染の有

無や胃粘膜の萎縮度を判定することにより、胃がんなどが発生しやすい状態にあるかを調べる検査であるが、従来のエックス線検査よりも身体的・経済的負担が少なく、新しい手法として、全国一

部の自治体で段階的に胃がんリスク検診、又は、ピロリ菌検査を導入し、検査費用の助成を行って

中学生の胃がんリスク検診導入については、生徒の健康診断は、学校保健安全法に基づき実施し

ているところもあることは承知している。

平市における現状は、平成24年版地域保健情報年報では、死亡原因の第1位は「がん」となっており、死亡者332人のうち、胃がんによる死亡者は35人となっている。また、市民健康センターにおいてピロリ菌抗体検査を実施しており、平成25年度受診された方は、358人となっている。

胃がんリスク検診、又は、ピロリ菌検査を導入し、検査費用の助成を行って

中学生の胃がんリスク検診導入については、生徒の健康診断は、学校保健安全法に基づき実施し



胃エックス線検査機器



市民健康センター

ており、胃がんリスク検診については現在、若年層における研究が進められていることから、国における対応について、しっかりと注視していきたい。

教育改革について

平成クラブ
谷口洋一議員

ごみ減量化対策について

新風会
堀孝行議員



Q 「岩見沢の教育づくり」としての推進を掲げているが、それに伴う特色ある人づくり、学校づくりの視点があまり見えない。教育分権の視点から、教育改革の概念を聞きたい。

教育長 岩見沢市教育委員会では、法律等によつ

とりながら、子どもや地域の実態に即したさまざまな施策を推進してきたが、その都度、学校や保護者等と連携して進めてきたと認識している。

また、毎年、教育行政方針に沿って施策の推進を図っているが、本年度は、その大きな柱の一つである学校教育の推進として、「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」を掲げ、「子どもの自己実現のため

硬直化にならないよう作成しており、その推進こそが特色ある人づくりや学校づくりにつながるものと考えている。

また、教育行政方針は、各学校への指針として示しており、それぞれの学校では、子どもや地域の実態に即した学校経営計画を作成し、教育委員会、学校、家庭、地域社会が一体となつて、よりよい教育を進めている。

Q ①ごみ減量化計画と達成度合いについて、現時点での評価・分析と今後の見込みは。②新しいごみ処理方式スタートまでの具体的な取り組み内容について。

市長 ①昨年度の資源ごみを除くごみ量は、前年と比べ、1769トン少ない3万1613トンだが、目標値より71トン多く、資源ごみは、12トン増の1684トンで、目標値には5トン足りなかつたが、集団資源回収では、103トン増加の2903トンとなり、目標を35トン上回る結果となっている。

できたと考えており、昨年からは実施した拠点回収や地域巡回回収など、排出機会をふやしたことや、地域や事業者の資源化意識が高まったことが要因と考えている。

また、事業者のペーパーサイクルについても、81トン増加の3254トンで、目標を35トン上回り、資源化については、おおむね目標を達成

できたと考えており、昨年からは実施した拠点回収や地域巡回回収など、排出機会をふやしたことや、地域や事業者の資源化意識が高まったことが要因と考えている。

本年4月から5月までの資源ごみを除くごみ量は、昨年同時期と比べ、2か月で352トン少なく、3月から実施した「危険ごみ」「紙類」の新たな分別収集、「ビン・缶・ペットボトル」のごみステーション収集により、分別徹底による資源化が促進されたと考えており、平成26年度の目標達成ができると考えている。

所、支所などで説明会を開催し、また、参加できない方にも、変更内容をお知らせするパンフレットを全戸に配布し、事業者へは、パンフレットの配布、説明会の開催及び事業所を戸別訪問し、指導啓発に加え、減量のポイントや制度変更の周知を行っていく。

そのほか、分別辞典や分別カレンダーの全戸配布、広報いわみざわや新聞折り込みチラシ、エフエムはまなすやIHKでの啓発放送を繰り返し実施するとともに市職員がごみステーションに立ち、啓発を行っていく。

この教育行政方針は、時代の潮流や全国的な問題の解決、さらには岩見沢市が独自に推進する施策などを盛り込みながら、学校教育の画一化や

この教育行政方針は、時代の潮流や全国的な問題の解決、さらには岩見沢市が独自に推進する施策などを盛り込みながら、学校教育の画一化や

また、事業者のペーパーサイクルについても、81トン増加の3254トンで、目標を35トン上回り、資源化については、おおむね目標を達成

また、事業者のペーパーサイクルについても、81トン増加の3254トンで、目標を35トン上回り、資源化については、おおむね目標を達成

また、事業者のペーパーサイクルについても、81トン増加の3254トンで、目標を35トン上回り、資源化については、おおむね目標を達成

また、事業者のペーパーサイクルについても、81トン増加の3254トンで、目標を35トン上回り、資源化については、おおむね目標を達成

克雪に向けた 取り組みについて

新風会

平野 義文 議員

ふるさと納税について

公明党

斉須 正友 議員

Q ①ボランティア活動推進のための体制づくりについて。②市民の安全を確保し、快適な冬生活を過ごすための補助制度の推進について。

市長 ①岩見沢市において、国の言う「共助による地域除雪」については、既に地域コミュニティとボランティアによる体制づくりに取り組んでおり、「地域除排雪活動支援事業」は平成4年から実施し、平成25年度には176町会で1463世帯の方を1502人のボランティアにより支援している。

また、地域の方が中心となり、除排雪に関する地域の相談や要望に対する「地域除雪センター」が、平成24年度から1カ所増設され、市内2カ所の地区で開設しているほか、町内会が生活道路の排雪を自主的に行っている地域自主排雪についても、実施町内会が35にふえており、市と協働による取り組みが徐々に進んできている。

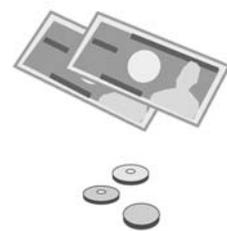
か、町内会が生活道路の排雪を自主的に行っている地域自主排雪についても、実施町内会が35にふえており、市と協働による取り組みが徐々に進んできている。

市長 既にそれぞれの所管では、昨年度の冬の雪対策の総括を行っており、早ければ6月中にも課題を出し合い協議を行う段階にある。

Q ①本市のふるさと納税の内容と件数、金額の推移について。②さらなる促進に向けて、工夫が必要と考えるが、その考えは。

贈呈するとともに、継続的な関係を築くため、「広報いわみざわ」を1年間送付しているものである。

また、新聞報道では、今後の国の動きとして、特典として贈っている特産品のブランド化を支援する「ふるさと名物応援制度」を創設することとし、新たな成長戦略に盛り込む方針という報道もある。その動向を注視しつつ、岩見沢を応援していただけるファンづくりにつながる取り組みを今後とも検討していきたいと考えている。



今後においても、こうした市と地域の協働の取り組みをしっかりと進めていきたい。

7月に、昨年も行ったサマーレビューを実施する予定であるが、雪対策に関しては、少し前倒して実施できないかというところで、担当部署を含めて協議をしている最中であり、サマーレビューを行った後、オータムレビューを経て、しっかりとした事業を来年度予算の編成に反映できるように考えている。

市長 ①ふるさと納税制度は、平成20年度に開始され、当市では、開基130年、市制施行70周年を契機として、個性豊かな活力あるまちづくりに資することを目的に「岩見沢市ふるさと応援寄附」を昨年6月から開始し、その内容は、寄附される方が「ふるさとづくりの推進に関する事業」や「観光振興に関する事業」など、寄附の目的に沿った形で使い道を選択することができ、市外に居住する個人で、1万円以上の寄附をされた方を対象に、お米や野菜、ワインなどの岩見沢の特産品を

は、平成20年度が、9件の163万円、平成21年度が、4件の14万円、平成22年度が、13件の88万5千円、平成23年度が、8件の45万円、平成24年度が、9件の89万円と推移している。

しかしながら、ふるさと応援寄附を開始した平成25年度は、340件、903万8千円を寄附いただいた結果となっている。

再質問 総合的な雪対策の推進に向け、新しい冬の時期までのスケジューリング的なものがあれば、お聞きしたい。

また、地域の方が中心となり、除排雪に関する地域の相談や要望に対する「地域除雪センター」が、平成24年度から1カ所増設され、市内2カ所の地区で開設しているほか、町内会が生活道路の排雪を自主的に行っている地域自主排雪についても、実施町内会が35にふえており、市と協働による取り組みが徐々に進んできている。



地域自主排雪

平成24年度と平成25年度を比較すると件数で31件、金額で814万8千円の増となり、金額で言うとおおむね10倍に増加したこととなる。

②本年6月から、寄附さ

る方の利便性と魅力の向上を図るため、クレジットカード決済の導入や、ふるさと応援特産品を6品目から12品目に拡充したところである。

岩見沢緑陵高校について

新風会
峯 泰教議員

Q ①岩見沢緑陵高校に
対する現状認識は。②市
が高校を持つ意義は。③
市立高校としての可能性
は。

場を果たす部があり、特
色を生かした「文武両道」
の教育活動が一定の成果
を上げていると認識して
いる。

市長

①平成14年に商
業科が情報コミュニケーション
シヨン科に学科転換する
など、時代の流れを踏ま
えた教育内容の見直しを
行い、中学卒業者の減少
が続く中でも、募集定員
に見合う入学者を確保し
ている。本年3月には卒
業者数が1万人を超え、
昨年度の卒業生は、国公
立・私立大学等進学者173
名、公務員等就職者が59
名となっている。情報コ
ミュニケーション科で

②岩見沢の未来を考え、
市立高校として、学習、
部活動、ボランティア活
動等に積極的に参加させ
る中で、地域のよさを学
び、地域社会の発展に貢
献する人材を育てていく
ことが重要と考えてい
る。平成26年度高等学校
入学選抜の出席状況では
募集人員を上回り、地域
の皆様並びに中学生の期
待は大変大きいものがあ
ると考えている。

教育長

③生徒の多様な
ニーズを踏まえ、「文武両
道」の学校づくりを強力
に進めていきたい。本年
度から校内に「特色化推
進委員会」を設置し、教育
大岩見沢校との連携も含

め、今後の学校のあり方
について検討を進めてい
る。

再質問 岩見沢市の子ど
もを全体でどう育てるか
という中で緑陵高校の
位置づけは。

教育長 今の子どもたち
のニーズに合った、そし
て自分の夢や希望を高校
を出た後に、日本国中で、
全道で果たせるような子
どもたちを育てていくた
めに、今、高校で先生方
を中心に委員会を立ち上
げ十分話し合いをしてい
る。



岩見沢緑陵高等学校

子どもの医療費助成制度の 拡充と無料化について

日本共産党議員団
山田 靖廣 議員

Q ①医療費無料化の中
学校卒業までの拡充に対
する市長の考えは。②国
や北海道への財政措置を
要望する考えは。③平成
25年度の小学生の医療費
助成の実績は。④中学校
卒業まで拡充したときの
予算等は。

要請を行っている。
③平成25年度における医
療費助成の実績は、小学
1年生から3年生までの
通院では、助成件数が2
万1370件で5092
万円、小学1年生から6
年生までの入院では、助
成件数が84件で57万円の
助成を行っている。通院
費を小学6年生まで無料
とした場合には、新たに
約2100名が対象とな
り、助成額は約5800
万円の増となるものと試
算している。

市長

①子育て世代が
安心して岩見沢市に居住
していたくためには、
医療費助成だけではな
く、教育環境や子育て支
援、さらには医療や雇用
などさまざまな施策をパ
ランスよく講じていく必
要があると考えている。
また実施した場合、さら
なる財政負担を伴うこと
から、国の動きをしばら
く注視していきたい。

なことをぜひやっていた
だきたいと思うが。

市長

岩見沢市が現在
行っている医療費の助成
制度については、全道で
トップクラスと思ってい
る。国に対し、既に全国
市長会などいろいろ、無
料制度の創設をという提
言をしているので、そう
いったところを注視して
対応させていた、きた
い。

再質問

中学生までの無
料化を岩見沢市が先行し
て実施して、国や道に岩
見沢市が、地方が頑張っ
ているのだから、国も頑
張ってほしいというよう

②子どもの医療費無料化
制度の創設を初め、全国
市長会を通じ国に対し、
少子化対策として提言や

④約2200名の生徒が
対象となり、助成額は約
7600万円の増になる
ものと試算している。



農業委員会制度の見直しについて

日本共産党議員団
上田久司議員

Q 政府の諮問機関である、規制改革会議の農業ワーキンググループが5月14日に発表した「農業改革に関する意見書」で示された農業委員会制度のあり方について、市長及び農業委員会のお考えは。

市長 当市の農業委員会の業務については、農地売買等に係る農地法等に基づく許認可、農地のあっせん、農地パトロールや担い手の育成などを行っており、現状では、農業委員会が十分に機能していると認識している。そのようなことから、今回の改革案は、当市の農業委員会においては、改革の効果が小さく、むしろこれまでの機能、活動の低下が危惧される。

農業委員会会長

このた 視し、対応について関係

機関との連絡を密にしていききたい。



子どもたちへのサイバーパトロールについて

新風会
池島和行議員

Q ①子どもたちのインターネット上での書き込み等の調査について。②現在までの事故や事件について。③子どもたちにもどのように指導しているのか。

教育長 ①北海道教育委員会では、「北海道児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動実施要綱」に基づき、小学校、中学校、高校に対し、ネ

た道教委でも専門業者を通じてネットパトロールを行っている。年2回、道教委へ実施状況を報告することとなっている。また、全校集会を開き、ネットトラブル・情報モラルについて指導を行ったところであり、今後ともホームルームなどを通じて継続して指導していく。

児童生徒向け資料
「インターネットに写真を載せるとき気をつけること」

無断で友達や知らない人の写真をインターネット上に載せていませんか？

■友達の写真を載せてしまっているケース
インターネット上に友達の写真を載せると一緒に写った写真も載せている人と一緒に写っている写真も、勝手に取ってしまったりインターネット上に自分の写真を載せることになりかねません。

■知らない人の写真を載せてしまっているケース
スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能で、知らない人を勝手に撮影することもある。それをインターネット上に載せることは、無断で他人の写真を載せることになりかねません。

■勝手にインターネットに載せてしまっているケース
他人の写真を勝手にインターネット上に載せてしまうと、肖像権(人格権)、プライバシー権などの権利を侵害したことになる場合があります。

インターネット上に写真を載せるとき気をつけること

- 友達の写真を載せるときは、必ず相手の許可を取り、本人がわがらないうちに注意しましょう。
- 知らない人から送られてきた写真や勝手に撮った写真、インターネット上に載せることは控えてください。

保護者向け啓発リーフレット(8月)

「携帯型ゲーム機でできること」

携帯型ゲーム機に関する事件
昨年に起きた携帯型ゲーム機(ニンテンドー3DS、PSP)に関するネットトラブルが続き、その中で分かった事件は、携帯型ゲーム機から送られる写真が勝手にインターネット上にアップロードされ、知らない人に見られるという事案が複数発生しています。携帯型ゲーム機で撮影した写真が勝手にインターネット上にアップロード(勝手にインターネットにアップロード)されていることが、実際のところではあると報告されています。

携帯型ゲーム機でできること
携帯型ゲーム機には携帯電話やスマートフォンのようにメールや電話といった機能はついていません。携帯型ゲーム機でメールや電話の機能を使う場合は、他のスマートフォンと接続する必要があります。

■ニンテンドー3DS
メール: Yahoo!メールなどのWebメールサービス
通信: ワンワールド専用ソフト(みんなのネットチャット)

■PSP
メール: Yahoo!メールなどのWebメールサービス
通信: Speed(スピード)

Webメールサービスとは、インターネットからメールの送受信ができるサービスです。通信には、ニンテンドー3DSの場合は、みんなのネットチャットという専用ソフトをインストールする必要があります。PSPの場合は、みんなのネットチャットをインストールすると、Speedまでを無料通信と、一般の電卓や電子辞書の有料の通信を行うことができます。

トラブルを防ぐために
携帯型ゲーム機には、9月のアップデートで「説明したペラントコントロール機能」が追加されています。ペラントコントロール機能では、写真や個人情報の変更や削除を拒否し、インターネット上の個人情報を守ることもできます。また、そのほかの携帯型インターネットの機能も含めて、適切な設定を行います。子どもが勝手にインターネットにアップロードした写真や勝手に撮った写真のアップロードを拒否することができます。

情報モラルなどの啓発リーフレット

②岩見沢市で専門業者によって発見された書き込みは、すべて危険度が低いとの報告を受けている。

議会改革特別委員会の経過

議会改革特別委員会では、市民に開かれた議会にするための具体的事項を検討する第1小委員会で協議していた12項目、議会機能の充実・向上を図るための改革に関する具体的事項を検討する第2小委員会で協議されていた17項目について、数度にわたって協議が行われてきましたが、その協議が終了し、3月7日に開催した議会改革特別委員会において、両小委員会の委員長から、協議結果報告がありました。

この協議結果を踏まえ今後、引き続き協議が必要な項目、また実施へ向けさらに深く議論が必要な項目を3つに分け、その協議を行う場として作業部会が設置されました。

設置された3つの作業部会の主な協議事項は次のとおりになっています。

第1部会

議会報告会や対話集会の開催、また出前議会の開催など、議会が直接市民と接し、意見を聞く機会を設けることなどの協議をしています。

第2部会

本会議および委員会での質問方法の検討、また常任委員会の数や委員会構成など、議会運営にかかわる協議をしています。

第3部会

議会中継、議会だよりやホームページの掲載内容の充実を図るなど、市民に開かれた議会を目指し、積極的に情報発信を行っていくことなどの協議をしています。

これまでに協議決定し実施したことは・・・

1. 一般質問の発言内容（通告）の事前公表
2. 第2回定例会（6月）から議会の開催案内ポスターの掲示
3. 委員会での質疑における一問一答方式の運用方法の変更

第3回定例会

9月開催予定！

開会日については、公共施設などに事前に掲示されるポスターや市議会のホームページにて開会日の1週間前にお知らせいたします。

議会を傍聴してみませんか

本会議と委員会はどこでも傍聴することができます。会議当日に傍聴席入口にて、傍聴人受付票に住所・氏名等をご記入いただければ、傍聴することができます。団体で傍聴される方は、席の確保の都合上、あらかじめ議会事務局までご連絡をお願いします。

議会事務局 TEL 23 - 4111（内線 462）

編集後記

皆さん、お気づきでしたでしょうか、6月の第2回定例会から、市内の公共施設・駅・金融機関・学校などに議会開催のご案内のポスターを岩見沢市議会始まって以来初めて張り出しました。

今、議会改革を進めています。が、なんといっても市民の皆さんが市政に関心を寄せていただかなくては実りあるものにはなりません。

そして議会だよりもその中でさらに重要な役割があると思います。広報委員会でも知恵を出し合いながら作成していますが、やはり一番気になるのが皆さんに読まれていくかどうか。

ご感想はいかがですか。

（山田 記）

岩見沢市議会広報委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 野尻 清 |
| 副委員長 | 田中 和宏 |
| 委員 | 大坂 龍起 |
| 委員 | 酒井 和子 |
| 委員 | 山田 靖廣 |